



大正中学校だより

令和 2 年度 第 2 号

令和 2 年 5 月 1 3 日 発行 横浜市立大正中学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/taiyo>

いしわた はじめ
校長 石渡 元



今年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言によりステイホーム週間となり、国を挙げて命を守る行動となりました。

本校では、4月6日の入学式、7日の始業式、対面式を実施以降、感染防止の観点から一斉臨時休業となり、自宅学習の日が続いています。生徒、保護者の皆様にとっては、健康面や学習面にと、不安な日々を過ごしていることと思います。緊急事態宣言の延長に伴い、休業日も再度延長となり5月31日まで休業が続きます。感染防止には十分配慮いただいた対策と家庭学習を引き続きよろしく願っています。

今回は中期学校経営方針（令和2年度版）がまとまりましたので、ご紹介させていただきます。

【花盛りの大正花壇です】

【AETの先生紹介】

昨年度までお世話になっていました英語科アシスタント・イングリッシュ・ティーチャーのコナミ チャールトン先生が退職されました。後任に舞岡中学校からダニエル ハリソン先生が着任されました。がっちりとしたボディーで、全身から溢れるパワーを感じさせてくれます。きっと明るくパワフルなアクティビティーが展開されることと楽しみにしています。



【教科指導における指導方法・指導体制の工夫について】

本校では、基礎・基本の確実な定着と生徒の実態に応じたきめ細かい指導・支援の充実を図るため、指導方法・指導体制の工夫を行っています。今年度は以下に示す教科、学年で少人数指導やチーム・ティーチングを取り入れた授業を行っています。

- | | | |
|-----|------------------------------|--------------------|
| 1年生 | ・（英語）週1時間チーム・ティーチング | （保体）週2時間チーム・ティーチング |
| 2年生 | ・（英語）週1時間チーム・ティーチング | （保体）週2時間チーム・ティーチング |
| 3年生 | ・（数学、技術・家庭、英語）学級を2つに分けた少人数指導 | |

【新型コロナウイルスに伴う臨時休業による変更及び中止となった主な行事について】

＝予定を変更した行事＝

- ・3年生修学旅行：9月16日（水）～18日（金）
- ・体育祭：10月7日（水）
- ・健康診断関係は9月以降に実施

＝休業に伴い中止となった主な校内行事等＝

- ・離任式
- ・4月授業参観、保護者会
- ・3年全国学力・学習状況テスト
- ・家庭訪問

＝現在実施日等を検討中の行事＝

- ・生徒会、部活動オリエンテーション
- ・部活動仮入部
- ・学級写真撮影
- ・1, 2年生遠足、
- ・学校説明会、部活動保護者会
- ・前期中間テスト

＝中止連絡のあった対外行事＝

- ・関東・全国中学校競技大会
- ・個別級市合同体育祭
- ・個別級戸塚区合同宿泊学習

学校教育目標	未来に向かって心豊かにたくましく生きるために 1 自らの生き方を創りだし、より広く・より深く考え、課題解決に向けて粘り強く取り組む力をつけます。(知・開) 2 互いの違いを認め合い、思いやりの心を持ち、自他の生命と人権を大切にします。(徳・体) 3 あいさつを大切に、社会への視野を広げ、地域や社会に貢献できるようにします。(公・開)												
	学校概要	創立	74	周年	学校長	石渡 元	副校長	生田 秀一	2	学期制	一般学級:	16	個別支援学級:
児童生徒数:		584	人	主な関係校:							大正中学校・大正小学校・小雀小学校・東俣野小学校・千秀小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<学びに向かう力> <主体的な学び> <人とのかかわり>	大正中学校 大正小学校 小雀小学校 東俣野小学校	学習に向かう姿勢を身につけ、粘り強く学ぶ子ども ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した合同授業研究・協議会(年2回) ・小中合同職員研修会の開催(年1回)小中一貫教育推進会議(年4回)相互評価の会(年4回)専任、特別支援コーディネーターによる情報交換、協議会(年4回) ・児童生徒ブロック会議を開催し、児童会と生徒会の交流を行うとともに、合同の「スマイルプロジェクト」の推進、中学生による小学校訪問、児童生徒交流日での部活動体験

中期取組目標	①より良い学習習慣を身に付け、魅力ある分かりやすい授業、主体的な課題解決学習を通して、学力向上を目指します。 ②特別支援教育の視点を含めた生徒理解を基に、授業改善と生活支援・学習支援を行います。 ③社会性の育成を図り、生徒の自己有用感、自己存在感を高めると共に、自治活動を推進します。 ④地域の教育力を生かすと共に、交流やボランティア活動を通して、地域や社会に貢献できる生徒を育成します。 ・大中学生の心を育てる事業を中心に、生徒や保護者・地域が誇りを持つ学校を創ります。 ・互いに啓発、連携し、生徒や保護者・地域から信頼される活気ある職員集団を目指します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> 授業のスタンダードを徹底し魅力ある授業を展開して、生徒に学習に向かう姿勢を身につけさせる。 新学習指導要領を研究し、教科横断的なカリキュラムマネジメントを作成すると共に、授業力の向上に取り組む。 小中合同の授業研究を推進し、共通の指導観を確立し、学びの連続性を高める。
担当 学習指導部	
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> 全学年でローテーション道徳に取り組み、道徳の授業力向上を図る。 スマイルプロジェクトを中心に、生徒自ら、いじめのない学校、明るい学校づくりを進める。 「大中学生の心を育てる活動」を継続させると共に、地域との交流やボランティア活動を活性化させる。
担当 人権・道徳・福祉	
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> 互いの違いを認め合い自他の生命と人権を思いやり、これらを含めた視点で保健教育の系統化を進め、実践する。 健康に関する啓発活動、校内美化活動、さわやか運動を通して、生徒の健康や美化意識を高める。 1校1実践運動を推進していく。
担当 保健体育科・保健安全指導部	
生徒理解・支援	<ul style="list-style-type: none"> 他校種・他機関や保護者・地域との連携を深め、情報を共有し、SCやSSWを活用して生徒理解に努め充実した生徒支援を行う。 生活アンケートや教育相談等を定期的に行い、生徒の心身の変化や悩みに気づき、実践的な生徒支援を行う。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 生徒実態調査の活用、個別の支援計画の作成等を通して、生活支援と学習支援を行う。 ステージ1の通常授業でユニバーサルデザイン化、焦点化を推進する。ステージ2のTT授業などの支援方法を改善する。ステージ3の学習支援教室の効果的な運営を行う。
担当 特別支援教育推進委員会	
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 本部活動、中央評議会でPDCAによる自治活動を推進する。 生徒を中心とした行事などの企画運営により、生徒の自主性を育成する。 社会性の育成プログラムを含めた、3年間を見通した計画的な学級活動の実践。 周囲から承認される学級委員や班長による自治活動を推進し、朝・帰りの学活を充実させる。
担当 特別活動指導部	
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 大中学生の心を育てる活動を継続させ、地域・関係機関と生徒、保護者、職員との連携をより密なものとする。 地域活動への参加や地域ボランティアを推進し、生徒の自己有用感、自己存在感を得る活動を数的、質的に向上させる。
担当 生徒指導部	
いじめへの対応	<ul style="list-style-type: none"> いじめ定義を広く周知し、心身の苦痛を感じている生徒・保護者へ寄り添った組織的な対応を図る。 道徳をはじめとした教科や特別活動との横断的な学習を通して、充実した開発的・予防的いじめ防止対策を図る。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	<ul style="list-style-type: none"> 外部指導者を積極的に活用し、研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師の指導力の向上を目指す。 中堅、ベテラン職員が若手職員を育成する方法でメンターチーム事業をさらに充実させる。 働き方改革の視点から、会議資料の事前配布、方向性の明確化を図る。
担当 教務部	

